

母子保健指導の こんにちは赤ちゃん訪問

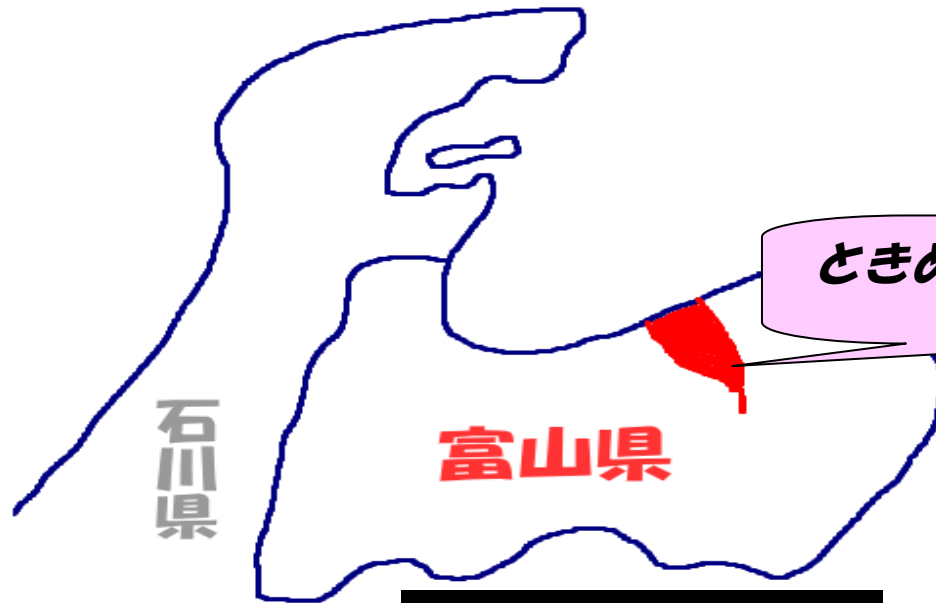


富山県滑川市
保健師 石原 和子

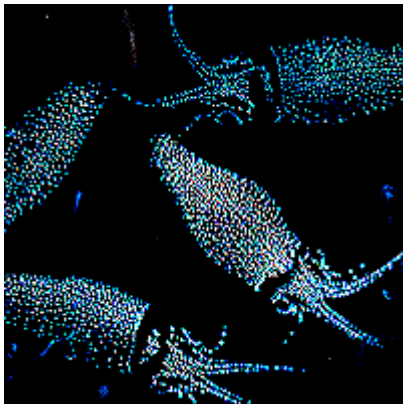
滑川市



ようこそなめりかわへ



ときめき かがやき
ひかりの街 なめりかわ



滑川市民健康センター

石原 和子

滑川市の概況

・地区 9地区

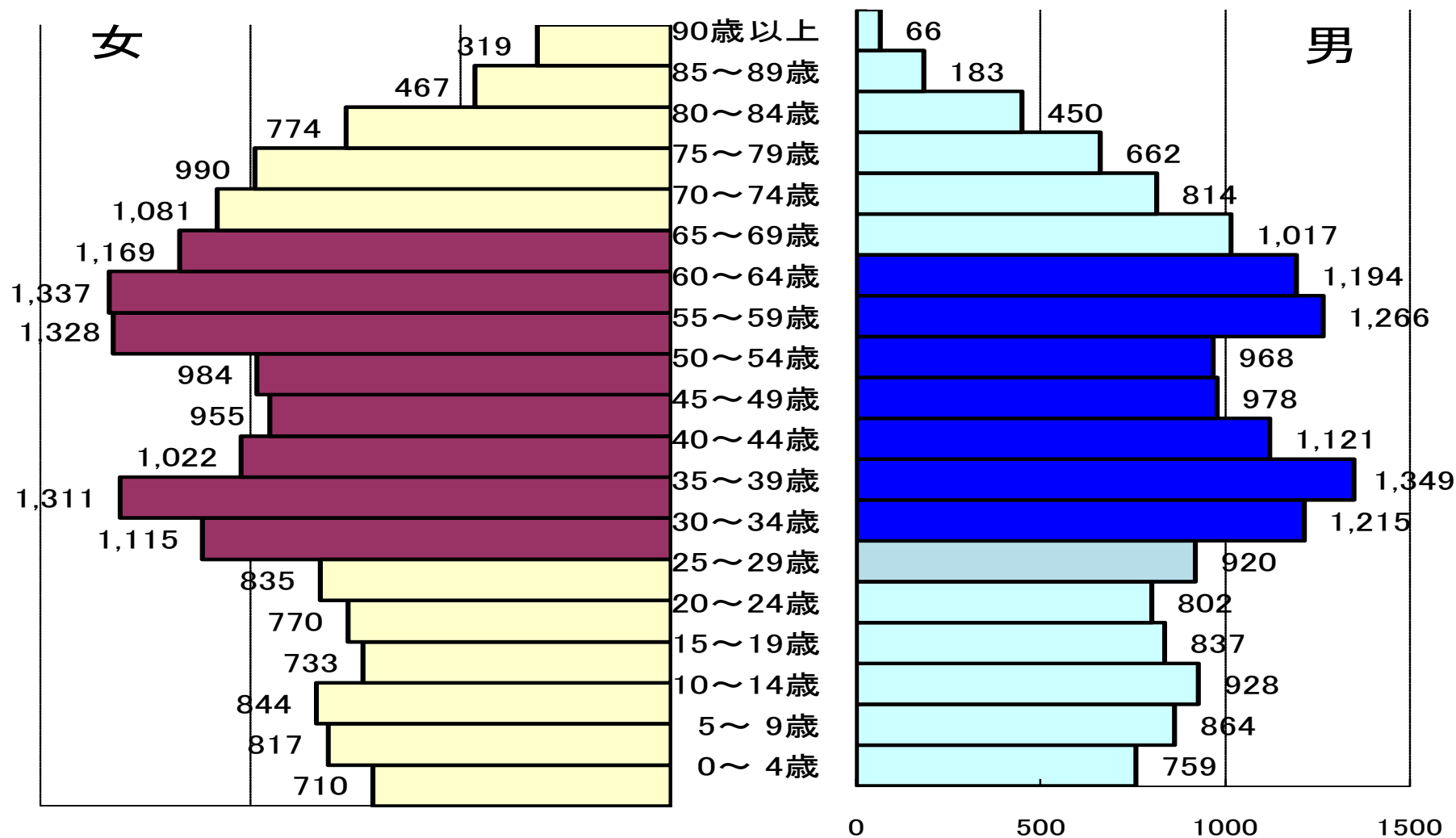
● (平成20. 4. 1現在)

・総人口 33, 900人

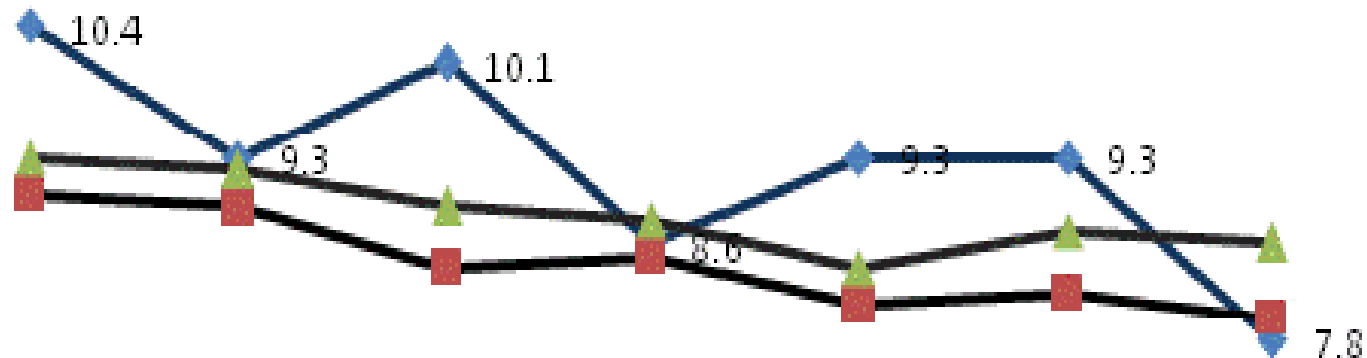
・65歳以上人口 7, 875人

・高齢指数 23. 2

滑川市の人口ピラミッド (平成20年4月)



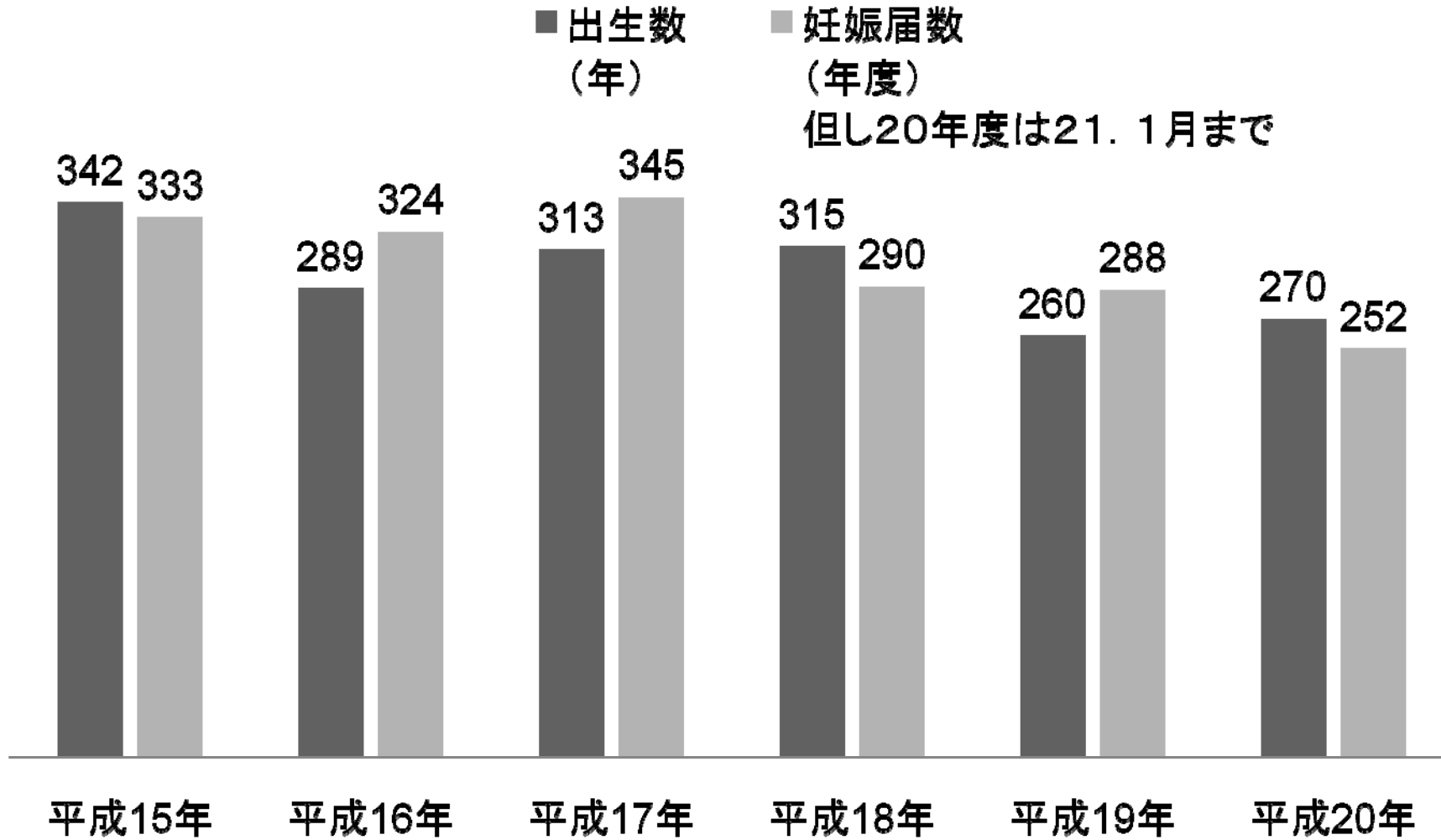
出生数の推移（全国・富山県・滑川市）



	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
◆滑川市	10.4	9.3	10.1	8.6	9.3	9.3	7.8
■富山県	9.0	8.9	8.4	8.5	8.1	8.2	8.0
▲全国	9.3	9.2	8.9	8.8	8.4	8.7	8.6

滑川市の出生数と妊娠届数の推移

(H15~H20)



保健師配置状況

保健師 11名

産業民生部 一 市民課

市民窓口担当

医療保険担当

市民健康センター

**保健事業担当
6名**

所長(保健師)	50代	1人
保健師 5名	40代	1人
	30代	1人
	20代	3人

高齢介護課

介護保険 20代 2人

地域包括支援センター 40代 1人

20代 2人

事業の経緯

平成19年2月19日付け 厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室調製班通知

「生後4か月までの全戸訪問事業」の新規導入

- ・富山県では厚生部児童青年家庭課が主管
- ・滑川市は民生部福祉課が次世代育成対策の主管

平成19年度からの実施は

市民健康センターが母子保健事業として展開する

滑川市のこんにちは赤ちゃん訪問の概要

- 1、訪問担当者は保健師・助産師・母子保健推進員
ケースに合わせた担当役割
- 2、役所内の連携で情報把握
健康センターを核とし、福祉課、市民課
- 3、母子保健推進員のエンパワメントを引き出す。
・研修会の実施 情報交換
- 4、訪問での問診表は、母子の状態が簡易に把握できる様式
- 5、保健事業として、事後管理ができる。

こんにちは

赤ちゃん訪問の実施準備

事業の取組にあたり（保健師側）

- 1、事業内容は決して重い課題ではない。
- 2、保健師構成の脆弱に配慮し、継続できる業務量であること
 - ・結婚、出産、育児中の年齢層
 - ・子育て経験がない
 - ・いずれ異動を伴う人事配置
- 3、他事業とバランスや仕事量の急増などを考慮する。

事業の取組にあたり

(母子保健推進員側)

- 1、事業内容は決して重い課題ではない。
- 2、会員の中では温度差があるだろうが、実際の取組で力量をつけていく支援
研修や実施後の感想・問題点の対応
- 3、極力 低リスク児を対象とする。
- 4、地域で活動しやすい基盤づくりを推進する。

こんにちは赤ちゃん訪問担当スタッフ

1 健康センター

保健師 6人

2 助産師

新生児訪問委託助産師

(病院・在宅1・開業1)

3 母子保健推進員

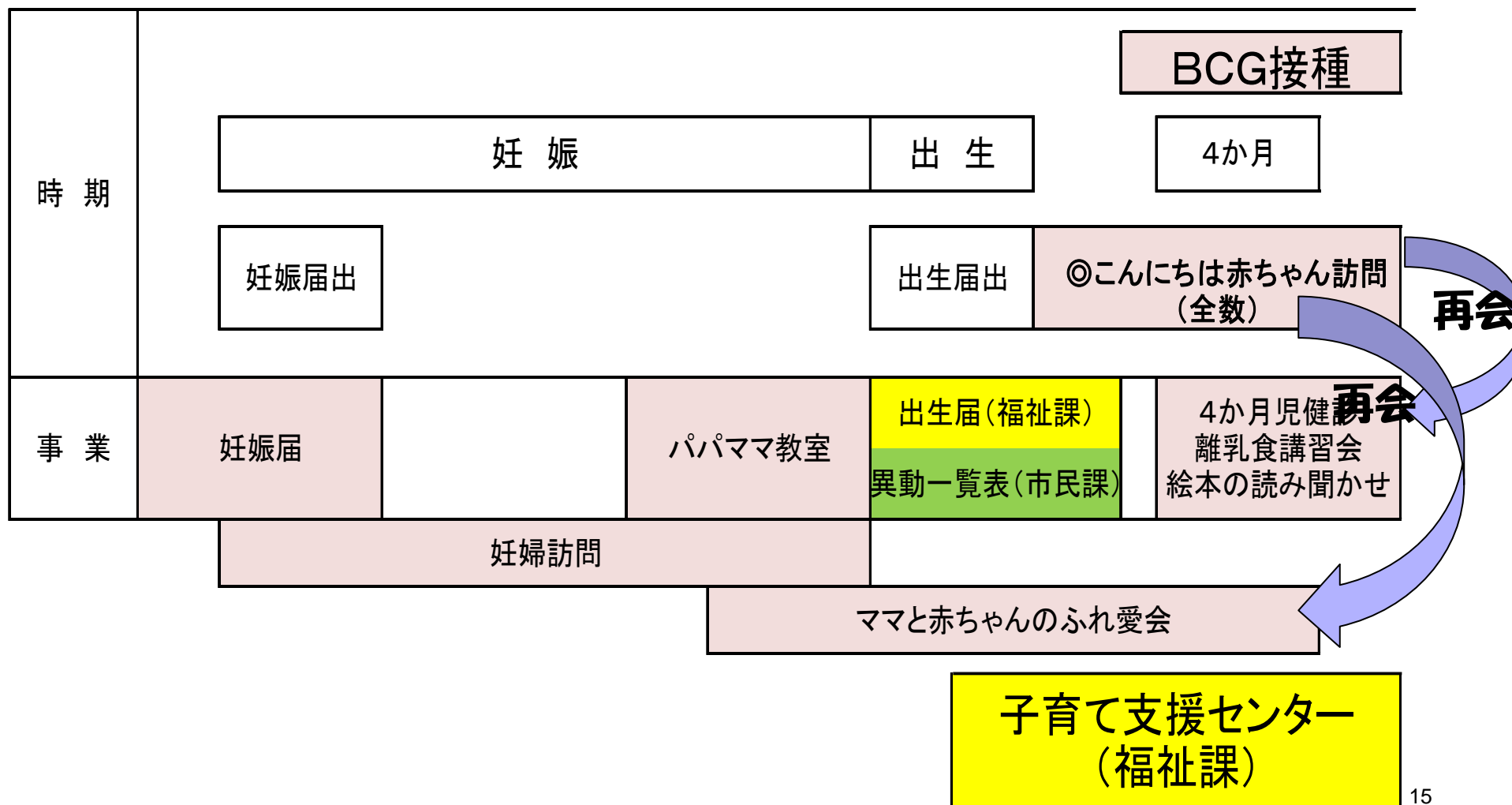
15人

こんにちは

赤ちゃん訪問の実施

滑川市の母子保健事業体系図

健康センター実施



円滑に推進するために

1、周知・情報収集

- ① 妊娠届出時 妊婦一般健康診査結果
- ② 出生届け出時に近況把握(福祉課窓口)
- ③ 市民課からの月毎の異動状況 (転入・出生等)

2、訪問担当者の選定

母子のリスクにより専門職視点の必要性の有無を判断

3、研修会と体験実習

初めて母推になられた方は、研修会の他に保健師・先輩母推さんの同行訪問を体験する。

新採の保健師も同様、同行訪問体験する。